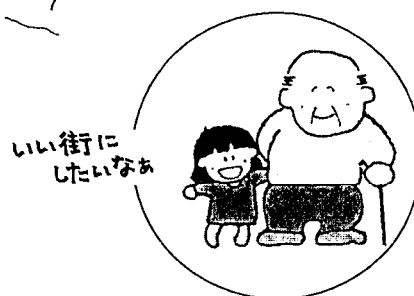
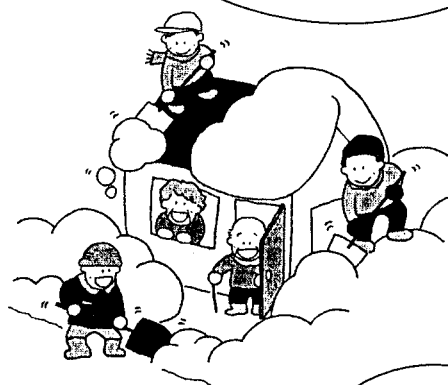
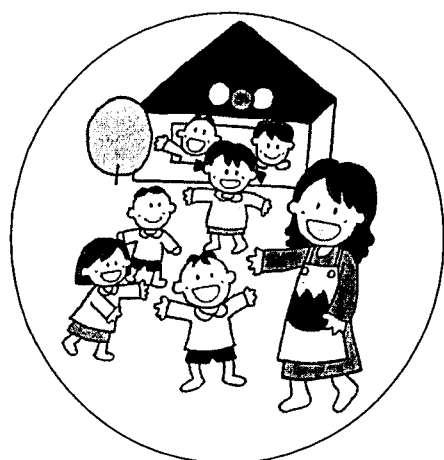


本別町地域福祉計画策定資料集

ほんべつ

『 人にやさしい、みんなが家族のまちづくりプラン 』



平成18年9月15日

北海道本別町

参考 表 分野別による生活課題の分類

分野	中分類	小分類	
1. 健康	1. 健康管理・維持増進	①健康増進の場・機会 ②健康への関心・不安	
	2. 食生活改善	①食生活改善への意識・情報の提供 ②糖尿病等の治療食づくり	
	3. 医療体制	①医療スタッフの対応 ②専門科の充実 ③受診システム・体制等	
2. 子ども・ 高齢者・ 障がい者	1. 子どもの遊び場	①遊び場の確保・充実	
	2. 子どもの通学路	①除排雪等による安全確保	
	3. 子育て支援	①サークル活動の充実	
		②保育の充実 ③少子化問題 ④保育所機能の見直し	
	4. 子どもの交流	①地域での交流促進	
	5. 子どもの教育環境・教育体制	①子どもの教育環境の充実・教育体制の見直し	
	6. 高齢者や障がい者への支援	①高齢者等の除排雪 ②高齢者等の屋根の雪おろし ③高齢者等のゴミの分別 ④その他高齢者への支援 ⑤障がい者への支援 ⑥認知症高齢者家族支援 ⑦高齢者の居住支援	
		7. 高齢者や障がい者世帯の社会参加の機会	①高齢者の参加機会の提供 ②障がい者の参加機会の提供
		8. 介護サービス体制	①介護サービス体制 ②障がい者サービス体制
		9. 介護に関する不安	①介護の不安
	10. 高齢者・障がい者・こどもの複合的支援	①複合的支援の強化・充実	
	11. 複合的な施設機能や施設のバリアフリー化	①施設の機能の見直し ②施設のバリアフリー化	
12. 新たな課題への対応	①児童虐待 ②配偶者からの暴力および被害者保護 ③権利擁護		
3. 自治会・ 地域活動	1. 役員の担い手・参加者不足	①役員の担い手や後継者・参加者の不足	
	2. 葬儀の体制	①人手不足・費用の問題	
	3. 地域活動の活性化	①認識の持ち方・活動内容の見直し	
	4. 自治会再編・合併	①自治会再編・合併	
	5. 地域活動の拠点	①拠点施設の整備・改善	
	6. 近隣コミュニケーション	①挨拶・近所づきあい	
	7. 地域活動・ボランティア活動支援	①支援の充実・見直し	
4. 交通・防災	1. 生活道路の整備・安全の確保	①バリアフリー化や安全性向上等	
	2. 交通安全対策	①道路標識・交通指導・路上駐車 ②災害時の支援 ③避難場所・危険区域の周知 ④災害時の情報提供 ⑤防災基盤整備	
	3. 防災対策	①情報提供・意識啓発	
	4. 防犯対策	①除排雪の充実・改善・落雪事故防止	
	5. 除雪・排雪	①通院バス等の利便性向上 ②通院手段等の確保 ③バス・鉄道の充実	
	6. 移動手段の確保		
5. 環境	1. ゴミの分別・マナー	①分別問題・マナーの向上	
	2. ゴミの収集体制・ゴミ袋等	①収集体制やゴミ袋の見直し	
	3. ペット飼育マナー	①ふん処理等マナー	
	4. 野良犬等対策	①野良犬・家畜等への対応	
	5. 空き家問題・対策	①空き家の管理	
	6. 騒音・悪臭問題	①騒音・悪臭問題への対応	
	7. 環境美化・景観	①環境美化や景観への配慮	
6. その他	1. 押し売り・訪問販売	①訪問販売等対策	
	2. 就業・雇用	①雇用の場の確保等	
	3. 町の活性化	①本別らしさ・まちの活気づくり	
	4. 市町村合併	①合併関連情報提供	
	5. 町営住宅	①町営住宅の情報提供	
	6. 年金	①年金制度への不安	
	7. 行政への要望	①行政への要望	
	8. その他	①その他	

参考 生活圏域による生活課題

生活圏域を「個人・家族」「小地域」「地域（全町）」の3つを核とした領域区分に分類しましたが、それぞれの領域に重なる課題が相当数あることから、「個人・家族＋小地域」と「小地域＋地域（全町）」、3つの核となる領域すべてに重なる内容の課題の「個人・家族＋小地域＋地域（全町）」を設けて6区分としました。

当初、「子どもの教育環境・教育体制」「除雪・排雪」に関する2つの課題がありましたが、昨今社会問題となっている「児童虐待」、「配偶者からの暴力および被害者保護」、「権利擁護」を「新たな課題への対応」としてこの領域に加えました。

個人・家族

この領域にある生活課題は、その内容が個人的生活空間の場や日常生活レベルのせまい領域及び個人・家族にかかわる家庭内における内容の課題をあげています。

個人・家族＋小地域

この領域にある生活課題は、住民の個人・家族の生活課題を超えて、日常活における通学圏・仕事・買い物圏・自治会範囲の領域にかかる内容の生活課題をあげています。小地域（自治会）を対象にしているが、個人の意識に関連する内容もこの領域の課題にしました。

小地域＋地域（全町）

この領域にある生活課題は、小地域での課題・活動に関わる内容がメインに考えられましたが、全町的な体制上の内容が含まれている生活課題も取り上げています。

地域（全町）

この領域にある生活課題は、個人や小地域を越える、全町的なサービス体制に関わる課題をあげています。施設に関わること、バス・鉄道・町営住宅の情報などを全町的な課題に分類しています。

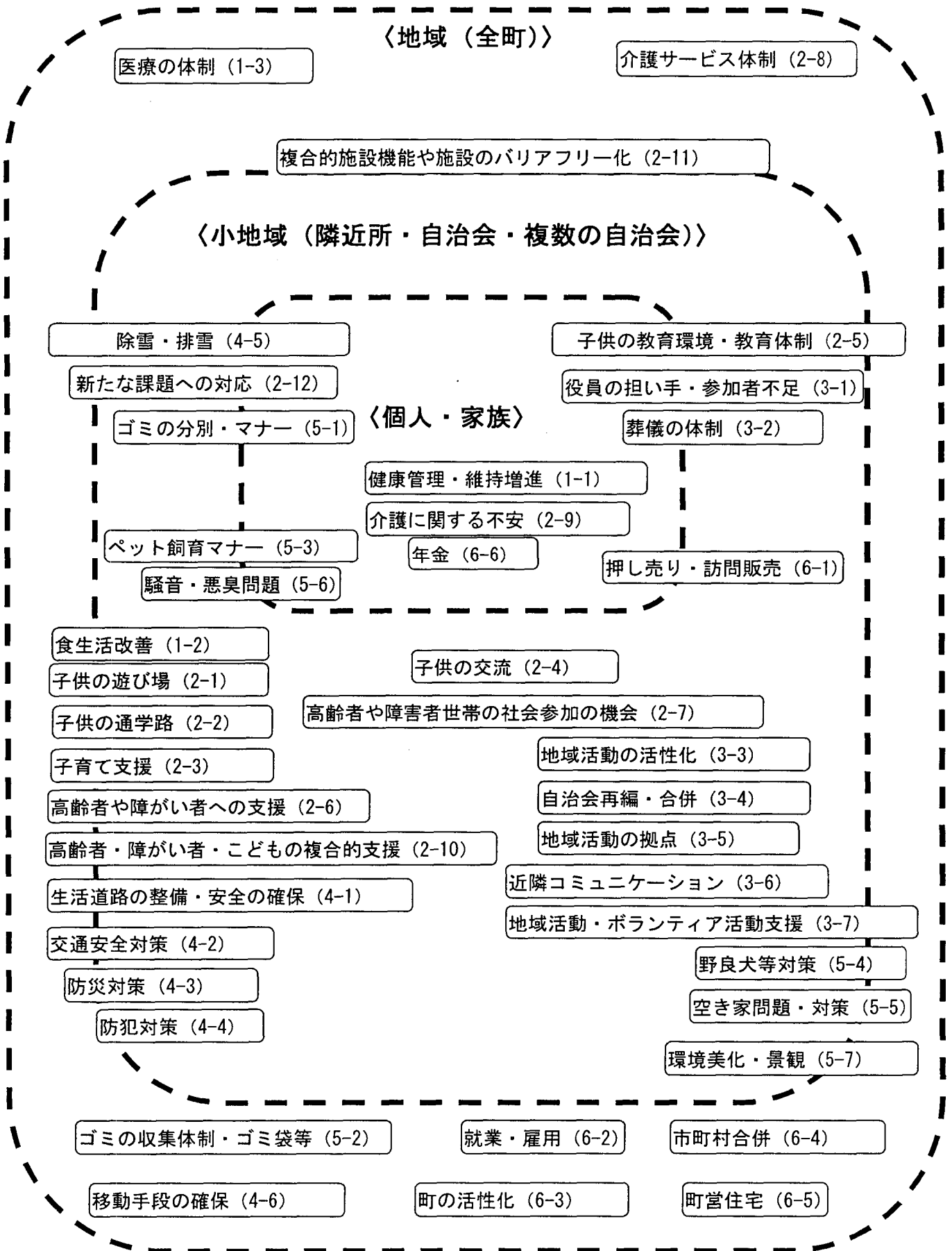
個人・家族＋小地域＋地域

この領域にある生活課題は、各家庭ごとの課題であるとともに、地域における課題や、全町的な体制等に関わることを含んだ課題をこの領域にあげています。

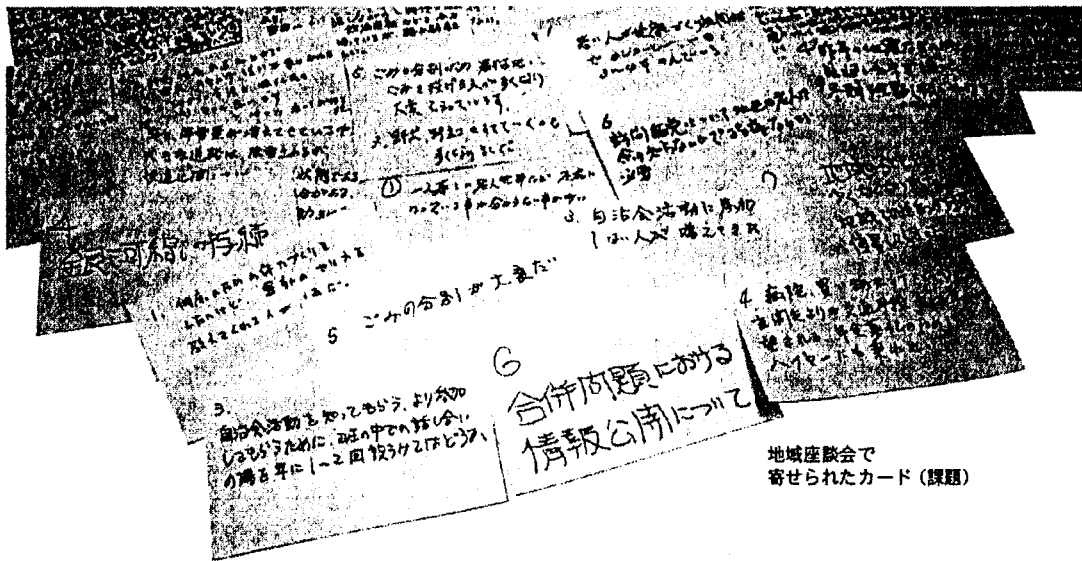
参考 表 生活圏域による生活課題の分類

領域区分	中分類	小分類	意見の内容
個人・家族	健康管理・維持推進	①健康増進の場・機会 ②健康への関心・不安	健康のため運動したいが、その機会がない 他 若い人が健康づくりに無関心である 他
	介護に関する不安	①介護の不安	高齢者の介護のため外出の機会が少ない 他
	年金	①年金制度への不安	安い年金生活者はどう生活したらよいか心配 他
個人・家族 + 小地域	役員の担い手・参加者不足	①役員の担い手や後継者・参加者の不足	役員のなり手や後継者がいない 他
	葬儀の体制	①人手不足・費用の問題	高齢化が進み、葬儀をやるのが大変である 他
	ゴミの分別・マナー	①分別問題・マナーの向上	ゴミの分別が大変である 他
	ペット飼育マナー	①ふん処理等マナー	犬や猫の糞で困っている 他
	騒音・悪臭問題	①騒音・悪臭問題への対応	車の音がうるさく寝られない 他
押し売り・訪問販売	①訪問販売等対策	訪問販売（押し売り）が多く怖い 他	
小地域	子どもの交流	①地域での交流促進	地域の子どもたちが少なくなり、地域での活動が停滞している 他
	高齢者や障がい者世帯の社会参加の機会	①高齢者の参加機会の提供 ②障がい者の参加機会の提供	お年寄りの生きがい活動が必要 他 障がいのある人も気兼ねなく参加できるイベントがあったら良い 他
	地域活動の活性化	①認識の持ち方・活動内容の見直し	町民一人一人が地域に密着し関心を持って協力して欲しい 他
	自治会再編・合併	①自治会再編・合併	自治会の人数が減っているため、自治会の再編も考える必要がある 他
	地域活動の拠点	①拠点施設の整備・改善	自治会活動のための集会場などが欲しい 他
	近隣コミュニケーション	①挨拶・近所づきあい	隣近所の付き合いが無くなっている 他
小地域 + 地域	食生活改善	①食生活改善への意識・情報の提供 ②糖尿病等の治療食づくり	食生活改善について、もっと情報が欲しい 他 糖尿病などの治療食が作れない 他
	子どもの遊び場	①遊び場の確保・充実	近くに子どもたちの遊べる場所が欲しい 他
	子どもの通学路	①除排雪等による安全確保	通学路の除雪を充実して欲しい 他
	子育て支援	①サークル活動の充実 ②保育の充実 ③少子化問題	地域でのサークル活動を立ち上げたい 他 学童保育の対応時間を長くしてほしい 他 子育てをしやすい町にしていきたい 他
	高齢者や障がい者への支援	①高齢者等の除排雪 ②高齢者等の屋根の雪おろし ③高齢者等のゴミの分別 ④その他高齢者への支援 ⑤障がい者への支援	地域での一人暮らし高齢者に対する除雪ボランティアが必要 他 高齢者や障がい者のための屋根の雪おろしサービスがあったら良い 他 高齢者はゴミの分別が大変である 他 近所に介護に疲れた高齢者がいて心配である 他 障がいのある方が買い物に困っている 他
	高齢者・障がい者・こどもの複合的支援	①複合的支援の強化・充実	障がい者や高齢者、子どもたちが参加できるイベントがあったら良い 他
	地域活動・ボランティア活動支援	①支援の充実・見直し	地域での福祉ネットワークの拡大が必要である 他
	生活道路の整備・安全の確保	①バリアフリー化や安全性向上等	高齢者や障がい者のために、段差の無い道路が必要 他
	交通安全対策	①道路標識・交通指導・路上駐車	路上駐車がが多い 他
	防災対策	①災害時の支援 ②避難場所・危険区域の周知 ③災害時の情報提供	体が不自由なので災害の時非難できるか心配だ 他 災害の時、どこに避難して良いかわからない 他 防災無線が聞こえない 他
	防犯対策	①情報提供・意識啓発	単身者等が多く屋間は無人になり防犯上非常に危険である 他
	ゴミの収集体制・ゴミ袋等	①収集体制やゴミ袋の見直し	ゴミ袋が破れやすいので丈夫なものにする必要がある 他
	野良犬等対策	①野良犬・家畜等への対応	野良犬や野良猫が多い 他
	空き家問題・対策	①空き家の管理	空き家において、地震や火災などの災害時に不安がある 他
	環境美化・景観	①環境美化や景観への配慮	空き家の雑草等清掃が必要 他
地域	医療体制	①医療スタッフの対応 ②専門科の充実 ③受診システム・体制等	わか町の病院に安心して診てもらえる対応が必要 他 小児科医が欲しい 他 待ち時間が長く利用しづらい 他
	介護サービス体制	①介護サービス体制	介護をする人が足りないのではないかと 他
	複合的な施設機能や施設のバリアフリー化	①施設の機能の見直し ②施設のバリアフリー化	いつでも誰でも気軽に使える施設が欲しい 他 公共施設のバリアフリー化の推進 他
	移動手段の確保	①通院バス等の利便性向上 ②通院等手段の確保 ③バス・鉄道の充実	通院バスの運行区域の見直しが必要 他 通院の足が無くお年寄りが困っている 他 帯広行きのバスの本数が少ない 他
	就業・雇用	①雇用の場の確保等	若い人たちが働ける場所が欲しい 他
	町の活性化	①本別らしさ・まちの活気づくり	本別にもう少し人の呼べるイベントやお祭りがあれば良い 他
	市町村合併	①合併関連情報提供	合併問題における情報公開について 他
	町営住宅	①町営住宅の情報提供	町営住宅の入居基準はどのようなものか 他
個人・家族 + 小地域 + 地域	子どもの教育環境・教育体制	①子どもの教育環境の充実・教育体制の見直し	高齢者を大切にするとともに、人を育てる事にも力を入れる必要がある 他
	除雪・排雪	①除雪の充実・落雪事故防止	道路や住宅周辺の除雪・排雪が大変で困っている 他
	新たな課題への対応	①児童虐待 ②配偶者からの暴力および被害者保護 ③権利擁護	児童虐待の増加に伴う対応 他 配偶者から言葉の暴力を受けている 他 入院の同意者身元引き受け人にサインをしてくれる人がいない（一人暮らし） 他

参考 図 生活圏域による住民の生活課題



() 内は、分野一中分類の番号である。



地域座談会で
寄せられたカード(課題)

4. 交通・防災

- 災害時の助け合い運動(声かけ助け合い運動)
- 除雪をもっと早くやしてほしい
- 病後療養の足がなく、高齢者が困っている(循環バスの停留所まで遠い)

3. 自治会・地域活動

- 自治会の役員のみ手がない
- 自治会活動(特に若年層世帯)に参加者が少ない
- 葬儀をやるのが大変

してほしい

- 近所に同じ年くらいの子供がいなくて、日常の中でも子供が地域のひとにかかわる機会が少なく寂しい感じがする
- 少子化対策を考える、子育てしやすいまちづくりを考えていくべき
- 自分の子供もよその子供も地域で育てる心構えをみんなで作ってほしい

・ 災害時に一人暮らしの人の見回りを、ネットワークの人の協力を得て行っている。
このような見回りは必要だ
・ 交通量が多い幹線道路に除雪がなかなかこないで自分たちで除雪した。できる部分は町民委託して除雪してもらおう対策も必要ではないか
・ 循環バスの停留所がないので、手を挙げれば止まってくれる方法を考えてほしい

・ 若い人たちが、先輩の世話になつてばかりいられないという意識があれば、自治会役員の担い手不足の問題は解決するのではないかと
・ やらない人(若い人)を排除するのではなく、近所で考えよい方向に向けるべき葬儀のやり方も都会化していかないといけないのではないかと、葬儀マニユアルを作れば業者と相談しやすい

・ 老人福祉センターで踊り、民謡、陶芸の生かすクラブを開催しているが、そこまで行けない人のために何かできないか。以前、生活館に将棋や囲碁の道具があったが、子供とお年寄りが一緒にできるものを生涯学習の観点で、地域の自治会・福祉部・婦人部で検討してはどうか
・ よその子供もいられるような地域社会になつてほしい



21地区、延べ461人が参加した地域座談会

「二万人のお茶の間トーク —今こそ発揮！—ご近所の底力」 地域座談会 結果報告

昨年十月二十七日、向陽町でのモデル座談会から始まった地域座談会「二万人のお茶の間トーク—今こそ発揮！—ご近所の底力」は、二月二十七日で二十一地区すべて終了しました。延べ四六一人が参加。六つの分野に分けてカードに書いていただいた、日常の悩み、地域での困り事などの生活課題は八七一件に上りました。地域福祉計画を策定するための貴重な資料となる、これらのカード（課題）と課題に対して寄せられた意見の中から、代表的なものを紹介します。

代表的なカード（課題）

課題に対して寄せられた意見

1. 健康

- 食生活の改善についてもっと情報がほしい
- 健康のため運動したいが機会がない

・健康管理センターたよりを見ると、五人以上集まれば出前講座が受けられ、栄養指導も受けられるのでうまく活用しては体力増進（スポーツ教室など）の機会を作ってほしい

・健康増進は、あくまで自分が行うべき。人を当てにしてはいけません。自分自身、あるもので有効活用を図り、自分で健康管理するものでは

2. ことも（学校）、高齢者、障害のある人

- 老々夫婦なのでだんだん弱弱になっ
- てくる。せめて元気づく声かけを

・通学時間に交通安全指導で道に立っていると子供に声をかけられ、自分たちも元気になる。高齢者にもそういうことをしてもらってはどうか

皆さんの「声」を分析し、
計画に反映します

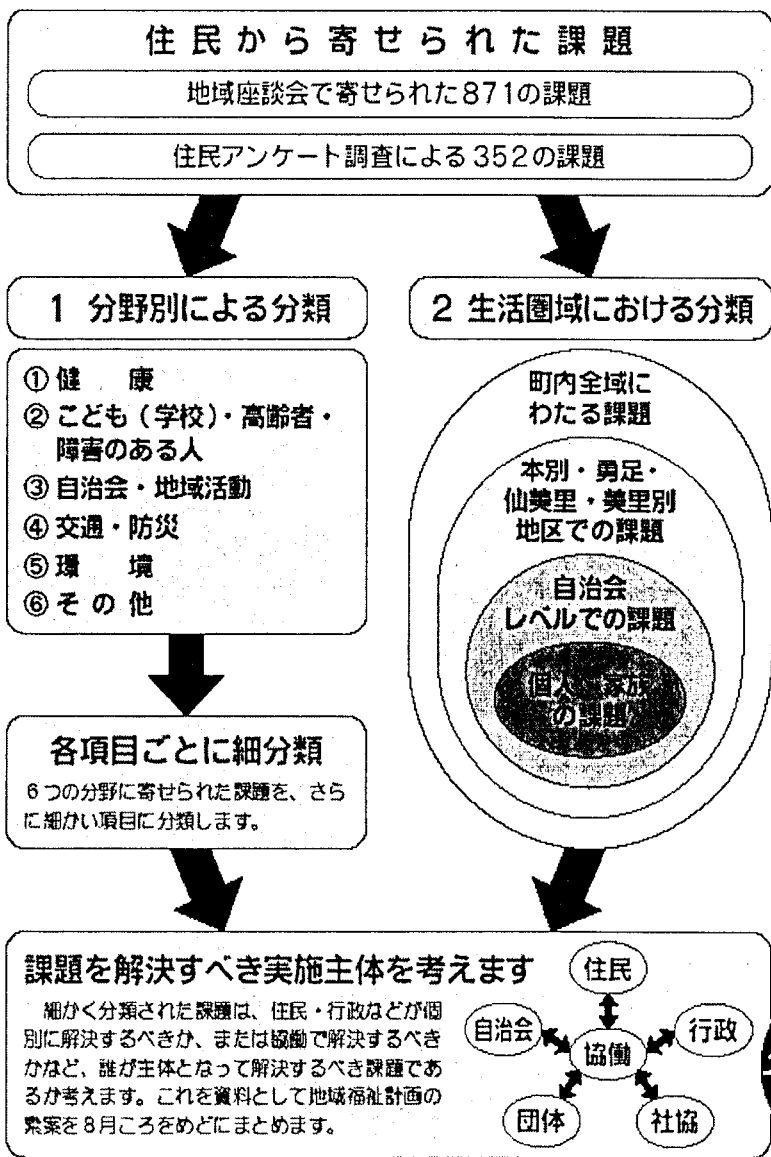
それらを、
分野別による
分類（課題を
項目ごとに細
分類）や生活
圏域における
分類（個人・家族の課題、自治会レベ
ルでの課題、町内全体にわたる課題な
どに分類）の二つの方法で細かく分
類、分析することとし、それを資料と
して計画の策定を進めることになりま
した。 ※下図参照

このほか、健康長寿のまちづくり会
議では次の事項が報告されました。

報告① 未来志向研究プロジェクト
本別町産ほう性高齢者家族やすらぎ
支援事業の問題点を整理し、課題解決
の方策を検討する調査研究事業が、厚
生労働省の未来志向研究プロジェクト
に採択され、事業が進められています。


報告② 平成十六年度高齢者・障害者
保健福祉関係事業の見直し
保健福祉関係事業の見直し
町健康長寿のまちづくり会議事業評
価部会での事業評価や、行政改革大綱
推進計画等を受けて、敬老会、敬老祝
金、温泉施設利用料・公衆浴場入浴料
助成券など、平成十六年度高齢者・障
害者保健福祉関係事業の見直しが報告
されました。

報告③ 老人ホーム事業
特別養護老人ホーム、ショートステ
イおよび介護老人ホームの施設として
の基本的な考え方や平成十五年度の主
な活動や出来事などが報告されました。



自治会活動に活用してください

地域座談会や住民アンケート調査で寄せられた課題などの概要は、二月末に各自治会長に配布しています。地域福祉計画策定の資料としてだけでなく、自治会活動を進めるための資料としても活用していただきたいと思ひます。



地域福祉計画策定の進め方を検討

本別町健康長寿のまちづくり会議

地域福祉計画策定委員会である町健康長寿のまちづくり会議（青岡地区、一一人）の平成十五年改定一回会議が二月二十六日、町総合センターで開かれました。

地域福祉計画策定の進め方、状況および、地域座談会一万人のお茶の間アンケートなどで発掘した課題の底力一、住民アンケート調査の結果などが報告され、地域福祉計画策定の今後の進め方が検討されました。

地域座談会などで寄せられた、皆さんの「生の声」である生活課題や解決のための意見を地域福祉計画に反映させるために、「もっと細かく分析、考察する必要がある」との意見があり、



地域福祉計画策定の進め方を検討した本別町健康長寿のまちづくり会議

5. 環境

- ごみの分別が大変だ
- ごみ出しのマナーが悪い
- 犬のふんが困っている。町内会で看板を立てているが、マナーの悪い飼い主がいる

ごみの分別に詳しい人を呼んで、ごみステーションの前で勉強会をしている。故意ではなく、高齢者などが分からなくてごみを出す場合がある。地域によってはネットワークで分別を手伝っているが、地域で行うにも限界がある。有償ボランティアなど、高齢者が増加してくる料米に向けて考えていかなければならない。ひどい場所には看板を立てたら、ふんをしないでいなくなった。

狂犬病注射の時期など、ふんを持ち帰るよう徹底してほしい。

6. その他

- 悪質訪問販売が多い。町または地域全体で取り組める方法はないか
- 若い人の働く場所がない
- 市町村合併問題について

悪徳商法の問題では、高齢者は地域で話し相手や楽しみがなく、そのような店に行くところも親切で話が面白いという。地域で、人きりにならないように、サロンのようなものが地域でも必要になってくるのではないか。このような場を通して情報交換ができ、悪徳商法にだまされることへの予防にもなるのでは。

中央公民館ロビー展「みんなで考える地域福祉」

各地で開催された座談会の様子をお知らせします。

●とき 5月11日～20日

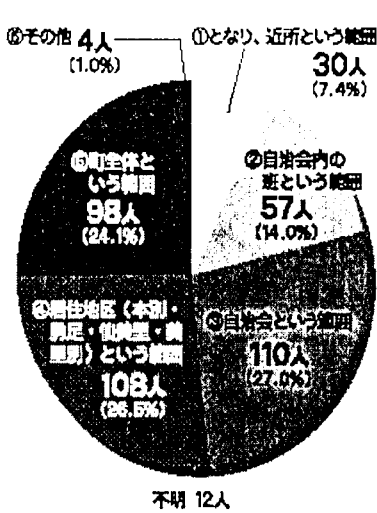
●ところ 中央公民館ロビー

●展示内容 地域座談会で寄せられた方（ド）課題」と意見、座談会の概要をまとめた「地域福祉計画だより」など

調査結果報告

問い1

あなたが考える「地域」とは、どの範囲ですか？（〇はひとつだけ）

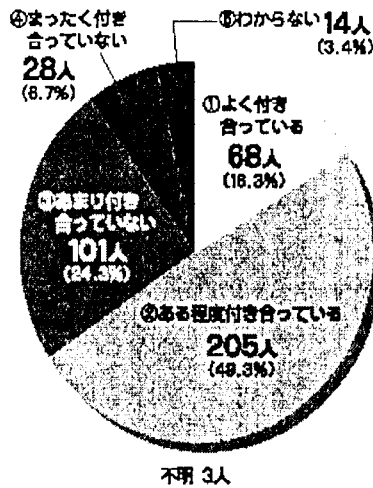


男性は「自治会」という範囲が、女性は「居住地区（本別・勇足・仙美里・美里別）」が第一位の答えとなり、年齢別に見ると、二十歳代が「町全体」が第一位になったのに対し、五十、六十、七十歳代では「自治会」が第一位となり、「町全体」とお答えになった人の割合は低い数字になりました。

地区別では勇足地区の四一・八割の方が「居住地区（本別・勇足・仙美里・美里別）」と答え、仙美里・美里別地区の皆さんの回答は「自治会」が第一位となりました。

問い2

あなたは、ご近所での付き合いをどの程度していますか？（〇はひとつだけ）



四十歳代以上の年代層で「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」を答えた人の割合が高くなっています。六十、七十歳代では、八割以上の人が「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」をお答えいただきました。

勇足・美里別地区では①②が回答者の八割に達し、本別地区では「あまり付き合っていない」が三割近い回答となりました。

問い3

問2で①よく付き合っている②ある程度付き合っている、に答えた人にお聞きします。それはどのようなお付き合いですか？

